

《担当者名》守田 玲菜 r-mori@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

疾患の原因や成り立ちを学習するとともに、2年次以降の授業で必要な主な疾患の特徴を学ぶ。

【学修目標】

病気について総合的に理解するとともに、全身の各臓器に共通してみられる基本的病変とその要因、病態について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	病理学序論	病理学とはなにか、病理診断の実際、疾患の病因	守田
2	循環器系の疾患	循環器系疾患を理解するための予備知識	守田
3	呼吸器系の疾患	呼吸器系疾患を理解するための予備知識	守田
4	消化器系の疾患	消化器系疾患を理解するための予備知識	守田
5	腎・泌尿器・生殖器の疾患	腎・泌尿器・生殖器疾患を理解するための予備知識	守田
6	造血器系の疾患	造血器系疾患の疾患を理解するための予備知識	守田
7	内分泌系の疾患	内分泌系疾患を理解するための予備知識	守田
8	細胞の異常	細胞・組織の障害と修復の病理学的理解	守田
9	先天異常	先天異常と遺伝子異常の病理学的理解	守田
10	循環障害	循環障害の病理学的理解	守田
11	代謝異常	代謝障害の病理学的理解	守田
12	感染と感染症、炎症	感染症や炎症に関するの病理学的理解	守田
13	免疫と免疫異常	免疫とその異常に関するの病理学的理解	守田
14	老化、腫瘍その1	老化、腫瘍に関するの病理学的理解	守田
15	腫瘍その2	腫瘍に関するの病理学的理解	守田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート（70%）授業内課題（30%）：詳細については授業内で説明します。

【教科書】

シンプル病理学改訂第8版・笹野公伸ら・南江堂

【参考書】

なるほどなっとく病理学 plus・小林正伸・南山堂

【備考】

Google classroomにて、復習用資料や課題を提示します。

教科書は必ず使いますので、毎回持参してください。

参考書は授業内で一部供覧しますので、可能なら用意することが望ましいです。

【学修の準備】

予習が望ましいですが、できない場合には必ず授業で触れた部分の教科書を再読してください（予習復習1時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての経験から実践的教育を行う